



北潟っ子3つの誓い

- 一つ、私たちは、わがまちに誇りをもち、まちのためによいことをします。
- 一つ、私たちは、家族のことを思い、家族のために役立つことをします。
- 一つ、私たちは、自分がよいと思うことをねばり強くがんばります。



少年消防クラブ(5年生)

2月3日(土)は節分でした。「鬼は外、福は内」と、豆まきをされたお家も多いことでしょう。鬼は邪気や厄の象徴。形の見えない災害、病、飢饉などの人間の想像力を超えた恐ろしい出来事は、鬼の仕業と考えられてきました。今年は年明け早々、大きな地震で甚大な被害が出ました。また、世界では戦争や紛争、飢餓などの問題もあります。どうか、鬼がいなくなり、この後は平穏な世の中であってほしいと願っております。さて、鬼は心の中にもいるのではないのでしょうか。気をつけないと心の隙間に次のような鬼が入ってくるかもしれません。自分だけが得をしようとし、相手や周囲の人を大切にしない鬼。「ありがとう」の感謝の心を忘れている鬼。自分の目標を失っている鬼。結果だけにこだわる鬼など。児童のみなさん、なまけ鬼、ふざけ鬼、いじわる鬼、ゲームし過ぎ鬼、夜ふかし鬼、イライラ鬼などを心から追い出して、春の進学・進級に向けての準備をしましょう。



スキー教室 …… 「できる」

冬の自然に親しみながら、スキーの技能を身につけることを目的とし、4~6年生を対象に1月18日(木)にスキージャム勝山でスキー教室を行いました。残念ながら、当日は、スキージャムも雨でした。子どもたちは、それぞれの技能に合わせて実習しました。スキーが初めてという子たちも頑張ってスキーに取り組んでいました。上級のグループの子は、リフトを乗り継いで上まで行き、滑走していました。雨の中でのスキー教室となりましたが、「楽しかった」「去年よりも多くリフトに乗れた」という声もありました。全く滑れない子が滑れるようになり、「できなかったこと」がそれなりに「できる」ようになりました。大きな進歩です。北潟っ子のみなさんは、何事に対しても簡単に諦めずに挑戦して、自分の可能性を広げていきましょう。指導やお手伝いでご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



学校公開・なわとび大会

2月6日(火)に、なわとび大会を含む学校公開が行われました。コロナ禍のときはできなかった、全学年が一堂に会してのなわとび大会を久しぶりに開催しました。お家の方には、寒い中、体育館で子どもたちの応援をしていただき、ありがとうございました。お家の方の応援もあり、子どもたちは、記録を伸ばそうといつも以上に頑張れたことと思います。また、学校公開でも、子供たちの活動の様子をご覧いただき、ありがとうございました。



給食週間

1月24日～30日までの1週間を「学校給食週間」とし、全国で様々な行事が行われますが、あわら市においては1月22日(月)～26日(金)を今年の「給食週間」としました。今年のテーマは、「うす味の工夫を知ろう」です。日本人は塩分を摂りすぎる傾向があるので、「美味しく」かつ「減塩」されたメニューが給食に出されました。給食週間の最終日の26日には、学校で給食集会を開きました。集会では、給食・放送委員会の子たちが、「食」に関する本の読み聞かせを行いました。また、代表の子たちが、給食でお世話になっている方への感謝の手紙を読みました。今回の給食集会の目玉は、市の学校給食センターとZoomを使い、オンラインで交流できたことです。センターの方にリアルタイムで、子どもたちの感謝の声を届けることができました。その他、子どもたちからのセンターの方への質問や、逆にセンターの方から子どもたちへの質問もありました。その中で、給食により苦手だった食材が食べられるようになったという話も出てきました。子どもたちは、センターの方々と交流することができ、調理の大変さや栄養バランスを考えて給食が作られていることを知ることができました。

給食・放送委員による「読み聞かせ」



感謝の手紙



オンラインでの交流

